

泉州薬事懇話会の概要

開催日時：平成29年10月5日（木）午後2時～4時

開催場所：岸和田市立浪切ホール 研修室1

出席委員：泉大津薬剤師会、泉佐野薬剤師会、貝塚市薬剤師会、岸和田市薬剤師会、泉南薬剤師会、高石薬剤師会、大阪府薬剤師会、和泉市歯科医師会、田尻町民生部、忠岡町健康福祉部、大阪府薬務課、泉州圏域の3保健所長

欠席：和泉市薬剤師会

議題1 かかりつけ薬剤師・薬局の機能推進について（大阪府薬務課から報告）

（主な質疑応答・意見等）

- 国庫を活用したモデル事業として、本年度は①薬局の24時間相談対応と②薬薬連携を土台とした退院時の情報共有、の2つを実施。このうち①のモデル事業は、熊取町で行っているもので、転送電話の所持などで24時間対応を始めている薬局が増えているので、患者さんからはもちろん、他職種からももっと薬局の相談機能を活用していただきたいという趣旨のものである。
- このようなモデル事業は昨年度も実施を行っており、残薬管理を積極的に行うことの有用性が確認出来ているため、本年度は府域全体に拡大して実施。

議題2 「患者のための薬局ビジョン推進事業」の進捗状況について

（1）「患者のための薬局ビジョン推進事業」の進捗状況について

（泉佐野薬剤師会から説明）

（主な質疑応答・意見等）

- 熊取町【多職種との24時間対応の連携】の事業紹介。
- 本事業を通して、多職種の方々に24時間の連携体制についてもっと周知したいと考えており、熊取町で実施している多職種連携会議（ひまわりネット）、医師会等で説明を実施。
- 今後は、アンケート結果等を集計して、さらなる連携の強化につなげていきたい。

（2）平成29年度保健所活動特別推進事業「薬局における残薬等服薬管理啓発事業」の概要について」（泉佐野保健所薬事課から説明）

(主な質疑応答・意見等)

- 本事業の目的は、薬局薬剤師さんの残薬調整への積極的な関与を推進し、患者さんに対して残薬によるリスク、薬が正しく飲まれていない可能性や誤飲の可能性などを周知し、患者さんの意識の向上を図ることである。
- 事業の実施内容については、リーフレットやポスターなどの啓発資材を作成し、府内の薬局への来局時や各市町村で開催される健康展などにおいて、残薬によるリスクを患者さんに周知するなどの府民啓発を行う。また、同時に府民に対してアンケートを実施し、理解度を高めると共に、残薬解消に向けた薬局の活動につなげることも検討している。
- 実際に作成した啓発資材のうち、リーフレットの内容について紹介。

議題3 その他

- (1) 第7次大阪府保健医療計画の概要について
(泉佐野保健所企画調整課から説明)
- (2) 泉州圏域における健康サポート薬局の件数について
(泉佐野保健所薬事課から説明)
- (3) 「泉州南部における地域医療連携の取り組み」について (意見交換)